

「他人の損失は自分の損失?—共感を支える脳活動—」

日時：2010年1月26日(火) 18:00-19:30

場所：東京大学駒場キャンパス 18号館 4階オープンスペース

＊ 事前登録制・参加無料(定員30名)

席に余裕がある限り、当日参加も受け付けます。

お名前・連絡先・参加人数を明記の上、

東京大学こまば脳カフェ実行委員会 cafe@utcp.c.u-tokyo.ac.jp (担当：中尾) まで、ご連絡ください。



ゲスト

福島宏器

慶応義塾大学文学部心理学研究室
日本学術振興会 特別研究員 (PD)

関連文献

福島宏器 (2009) 「他人の損失は自分の損失?—共感の神経的基盤を探る」
開一夫・長谷川寿一 (編) 『ソーシャルブレインズ—自己と他者を認知する
脳』東京大学出版会、191-213.

ファシリテーター

筒井晴香

東京大学大学院総合文化研究科
科学史・科学哲学研究室 博士課程
日本学術振興会 特別研究員 (DC1)

今回のゲストである福島さんは、私たちが他者に対して抱く「共感」を支える脳活動について研究されています。よく「他人の経験を我が事のように感じる」と言いますが、そんな時、私たちの脳内では何が起きているのでしょうか。また他者への共感、人によって、あるいは状況によってどう変化するのでしょうか。他者との関係をむすぶ鍵となる「共感」について、脳科学の研究から何が見えてくるのか—ともに考え、語り合ってみませんか？

